

住宅リフォーム助成本格実施へ

党議員団が 10 年以上前から公約として取り組んできた住宅リフォーム助成制度。地元業者の仕事起こしとともに地域経済の活性化につながることから、多くの自治体で取り組まれています。西宮市では 3 年前から阪神間で初めて、環境などに配慮したモデル事業として実施され、昨年度は募集と同時に申し込みが殺到する状況となりました。今年度はモデル事業から本格実施へと位置づけも変わり、予算額も大幅に増額されました。

すでに申込み受付中

2012 年度は 625 万円、2013 年度は 725 万円の予算でしたが、今年度はモデル事業から本格実施となったことから、予算額も 1200 万円に増え、すでに第一次の募集が行われています。

●制度の概要

- ・市民が市内業者で施工する住宅リフォーム工事で 20 万円以上のもの(店舗は対象外)
- ・助成額は対象工事額の 10%で 10 万円を上限(雨水浸透枳との同時期施工は 12 万円が上限)

●申し込み

◎ 一次募集 60 名

4 月 25 日～5 月 26 日

◎ 二次募集 60 名

8 月か 9 月頃

※申し込みは往復はがきで
多数の場合は抽選となります

詳細は市政ニュースもしくは市のホームページにて

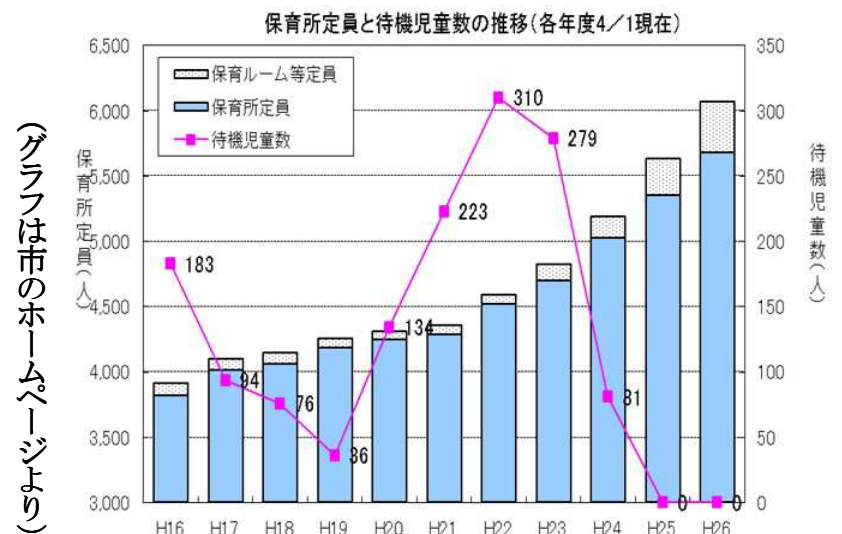
※問い合わせ 西宮市・産業振興課 35-3367 まで

西宮市長に今村氏

4 月 20 日に行われた市長選挙で、前市議の今村岳司氏が当選。就任は 5 月 16 日からですが、新聞報道によりますと、議会で承認されたアサヒビール跡地購入の撤回、人事評価制度の見直しや現業部門の民間移行の可能性にも言及しています。

今後の街づくりのあり方、市民の暮らしに密接に関わるごみの収集、学校給食、水路の清掃などへの影響が出てくる可能性もあり。市民生活を後退させないよう党議員団として奮闘していきます。

今年も待機児童ゼロ？



実際には 309 人が入れず

4 月 12 日西宮市は、4 月 1 日現在の保育所待機児童はゼロと発表。増え続ける保育需要に対して、市は前年度に民間保育所 3 園、小規模保育所 9 施設の新設などを行い、437 人の定員拡大が行われた結果です。

しかし、保護者が求職活動中、あるいは育児休業取得中などの方は厚生労働省の基準では待機に該当しません。実際に希望通りに入所できなかった方は 309 人にのぼっており、「待機児童ゼロ」と胸を張れる状況にはなっていないのが現実です。

医療介護改革法案国会で審議入り

市民にとって重大な影響を及ぼす医療・介護総合法案が、4 月 1 日から衆議院で審議。特に介護保険において、要支援 1・2 の方の訪問・通所介護を保険給付からはずし、地方自治体の総合事業という形で、ボランティアなどにゆだねる方向に。また、特別養護老人ホーム入所は要介護 3 以上の人だけなど、介護難民をさらに増やす内容となっています。